

2. 成果指標（KPI）

圏域の目指すべき将来像の実現に向け、地域経済、高次都市機能及び生活関連機能に関する成果指標（KPI：Key Performance Indicator）を、圏域の役割ごとに設定し、進行管理を行います。

まず、圏域の役割である「圏域全体の経済成長のけん引」について、中小企業の経営力強化や戦略的な観光施策などの取組を通じて、地域経済の活性化を目指すことから、圏域内で働く人や圏域を訪れる人が増加することが重要であると考え、その進捗を表す指標として、民営事業所の従業者数と香川県への再来訪意向割合を成果指標として設定しています。

次に、「高次の都市機能の集積・強化」の役割について、陸だけでなく海でつながる本圏域の特長も踏まえ、連携中枢都市である高松市が、圏域をけん引する中心都市としての機能充実を目指すことから、人や物の移動が活発化することが重要であると考え、陸・海・空という多様な公共交通に関連する指標を成果指標として設定しています。

最後に、「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の役割について、特に子育て支援や移住交流などの取組を通じて、住みやすい圏域づくりを目指すことから、圏域の課題である人口減少や大都市への若者の人口流出を抑制することが重要であると考え、その進捗を表す指標として、合計特殊出生率と若者世代の人口を成果指標としています。

また、指標ごとの目標値については、各種の取組を通じて、現状値より向上を目指すものや、人口減少が進み現状値より低下が予想される中において、現状維持や減少幅の抑制を目指すものとして、それぞれ設定しています。

なお、成果指標については、進行管理を行う中で、適宜、見直しを行うものとします。

圏域の役割	成果指標	現状値	目標値 (平成35年度)
圏域全体の 経済成長のけん引	圏域における民営事業所の 従業者数 (公務を除く全産業)	273,981人 (平成26年7月1日時点)	28万人程度
	香川県への再来訪意向割合 (香川県への再来訪意向 における「ぜひ来たい 人」の割合)	48.2% (平成26年度)	60.0%
高次の 都市機能の集積・強化	「JR高松駅」と「ことでん 瓦町駅」の1日平均乗降人 員数	37,098人 (平成26年度) ※24,648人 (JR高松駅) ※12,450人 (ことでん瓦町駅)	4万人程度
	高松発着の航路便数	往復81.5便 (平成27年3月時点)	往復81.5便
	高松空港の利用者数	173万人 (平成26年度)	199万人
圏域全体の生活関連機能 サービスの向上	圏域全体の合計特殊出生率 (各市町の加重平均での 参考値)	1.55 (平成22年)	1.70程度
	圏域全体での若者世代 (25－39歳)の人口	110,996人 (平成22年10月1日時点)	8万人程度